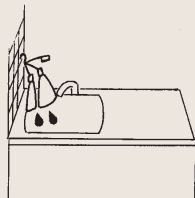




紙パックは、はさみなど道具を使用せずに手で破いて開いています。ワンアクションでできると気持ちもラクに。ストレス発散にもなります。



流し台の横に、たこ足ハンガーを設置して、洗ったラップなどをかけています。流し台に水滴が落ちるように設置しているので、拭き掃除など不要です。

洗剤は詰め替え用を利用して、できるだけごみを減らしています。しかもお買い得です。



ペットボトルや空き缶はお風呂の残り湯を使ってゆすいでいます。

実践している、ラクするコツ

参加者の方が日頃実践しているアイデアを紹介

分別方法が分からないときには、大崎町の公式LINEアプリを使って検索しています。スマートフォンは普段持ち歩いているので、アプリを使うと簡単に検索できます。

ズボラなので、連休にまとめて断捨離をしています。もう使えないものは資源ごみへ、まだ使えるものはリユース品として提供しています。

ごみ箱は数か所に置かず、台所の1か所にまとめています。家の中がすっきりとなり、ごみ出しもラクです。



調味料や洗剤、食料品など、ストック(在庫)を入れる場所を決めています。その中に入りきれないほどは買い足しません。物が見つかりやすく、無駄な買い物が減ります。



分別方法は、大崎町公式LINEや、分別アプリでも検索できます！



公式LINE



分別アプリ (Android)



分別アプリ (iPhone)

参加者のこえ

- もう1度わが家を見て、今日のセミナーで学んだことを確認しながら、感じ良く暮らす生活をめざして大崎ライフを楽しみたいのです。
- 捨てるだけでなく、リユース品としてゆずることも考えていきたいです。

こんな意見も多かった

いつか使うと思うと、物が捨てられずに溢れています。

ポイント！ 期限を設ける

1年使わなかったら処分する「一時保管ボックス」を用意し、悩んだものはその箱に入れる。1年間使わなかったものは、捨てたり譲ったりして処分する。

セミナーでお話をいただいた、株式会社良品計画 空間設計部 東京有明事業所 (元無印良品インテリアアドバイザー)の村上さん・小宮さん



大崎町の方々が、お悩みがありながらも、工夫して楽しみながら、リサイクルに誇りをもって取り組んでいらっしゃる、尊敬しております。無印良品が考える整理収納とは、本当に必要なもの、気に入ったものだけですっきりと暮らすということを概念に提案をしています。今回は、コツを3つに絞って紹介しました。皆さまのお悩みを少しでも解消できたら幸いです。